

## 未来の水戸をつくる市民1万人アンケートの結果について

### 1 調査の目的

笑顔にあふれ安心して暮らせる未来の水戸のまちづくりの指針となる新総合計画の策定に向けて、震災復興、市役所庁舎のあり方を含め、市民の生活環境や市政に対する評価・意見等を多面的に把握し、行政運営に反映させることを目的とする。

### 2 調査の設計

- ・調査対象
  - ・水戸市在住の満18歳以上の個人
  - ・市政モニター、審議会等の委員となっている個人
- ・標本数 10,145人
- ・抽出方法 水戸市在住の満18歳以上の個人については、住民基本台帳から等間隔無作為抽出
- ・調査期間 平成23年12月5日～12月20日
- ・回収結果

標本数 (A)	回収総数	有効回収数 (B)	回収率 (B/A)
10,145	5,809	5,801	57.2%

【前回】 55.7%

### 3 調査結果の概要

#### (1) 回答者のプロフィール

##### 1) 性別

男性	女性	無回答
43.3%	55.2%	1.5%

##### 2) 年齢別

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
1.6%	8.6%	14.8%	16.4%	16.4%	20.0%	20.9%	1.4%

(2) 水戸市の印象

水戸市の居住環境について、22項目にわたり市民に評価してもらった。その結果を点数化すると次のとおりである。

1) 評価の高いもの

【今回】

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
歴史と伝統がある 88.2点	住居の周囲が自然に恵まれ静かである 68.8点	災害などが比較的少なく安全であり、公害も少ない 48.3点	水が豊富できれいである 45.4点	住居と職場（学校）が近く通勤（通学）に便利である 37.7点

【前回】

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
災害などが比較的少なく安全であり、公害も少ない 83.7点	歴史と伝統がある 77.7点	住居の周囲が自然に恵まれ静かである 68.4点	住居と職場（学校）が近く通勤（通学）に便利である 46.8点	病院などの医療機関が整っている 33.9点

2) 評価の低いもの

【今回】

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
都会的な雰囲気がある -57.9点	産業が盛んで活力を感じる -50.4点	魅力ある職場が多い -44.7点	レジャーや娯楽のための施設が多く、生活を楽しめる -25.7点	交通機関が発達しており道路も整備されている -22.4点

【前回】

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
産業が盛んで活力を感じる -49.9点	魅力ある職場が多い -43.1点	レジャーや娯楽のための施設が多く、生活を楽しめる -38.9点	都会的な雰囲気がある -38.7点	福祉がゆき届いている -21.6点

3) 全体的な評価

【今回】

全体として住みやすい	55.4点
------------	-------

【前回】

全体として住みやすい	57.4点
------------	-------

$$\blacksquare \text{評価点} = \frac{\text{「そう思う」} \times 2 \text{点} + \text{「まあそう思う」} \times 1 \text{点} + \text{「普通」} \times 0 \text{点} + \text{「そう思わない」} \times (-1 \text{点})}{\text{回答数}} \times 100$$

(3) 住まいへの意識

今後の住まいへの意識について 10 項目から選択してもらった結果は、次のとおりである。

【今回】

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
現在の住まいにこれからも住みたい 53.3%	現在の住宅を増改築して住みたい 12.3%	地価は多少高くても利便性の良い市街地に住宅を求めて住みたい／地価の比較的安い郊外などに住宅を求めて住みたい	4.8%	家族から土地を譲り受けるなどして家を建てて住みたい 4.0%

【前回】

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
現在の住まいにこれからも住みたい 45.8%	現在の住宅を増改築して住みたい 16.0%	地価の比較的安い郊外などに住宅を求めて住みたい 8.3%	地価は多少高くても利便性の良い市街地に住宅を求めて住みたい 5.5%	家族から土地を譲り受けるなどして家を建てて住みたい 4.1%

(4) 水戸市の方向性

今後、水戸市がどのようなまちを目指していくのが望ましいと考えるのか 14 項目から選択してもらった結果は、次のとおりである。

【今回】

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
災害に強い安全なまち 48.7%	高齢者や障害者が安心して生活できるまち 46.5%	都市中枢機能が集積した活気あふれるまち 40.4%	子どもを安心して育てることができるまち 33.0%	自然に恵まれたまち 21.3%

【前回】

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
市民が健康で安心して生活できるまち 51.4%	自然に恵まれたまち 50.5%	高齢者や障害者が安心して生活できるまち 46.1%	文化や歴史を大切にすまち 35.5%	健全な子どもの成長をはぐくみ、市民の生涯学習活動が盛んなまち 23.0%

(5) 今後優先すべき施策

今後優先すべきと思う重点施策について36項目から選択してもらった結果は、次のとおりである。

【今回】

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
災害に強いまちづくり 32.1%	高齢者・障害者福祉施策 30.2%	雇用対策や勤労者福祉対策の充実 30.0%	身近な生活道路の整備 29.1%	総合医療対策 27.3%

【前回】

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
高齢者・障害者福祉施策 34.8%	雇用対策や勤労者福祉対策の充実 31.2%	身近な生活道路の整備 28.7%	総合医療対策 24.2%	生活排水の処理 21.4%

(6) 生活環境の満足度

総合的にみた住まいの周りの環境について、満足しているかどうかを選択してもらった結果は次のとおりである。

【今回】

満足 13.9%	やや満足 59.6%	やや不満 18.3%	不満 3.9%	無回答 4.3%
-------------	---------------	---------------	------------	-------------

【前回】

満足 12.2%	やや満足 54.0%	やや不満 18.7%	不満 4.2%	無回答 10.9%
-------------	---------------	---------------	------------	--------------

(7) 施設整備の地域要望

各地域で整備をしてもらいたいと思う施設について32項目から選択してもらった結果は、次のとおりである。

【今回】

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
道路の拡幅や舗装 16.6点	街路灯、防犯灯 13.9点	歩道などの交通安全施設 10.9点	側溝や雨水排水管 5.3点	公共下水道等 4.6点

【前回】

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
街路灯、防犯灯 15.4点	道路の拡幅や舗装 15.0点	歩道などの交通安全施設 9.0点	下水道や側溝 8.9点	子どもの遊び場 4.3点

$$\blacksquare \text{ 要望得点} = \frac{\text{「第1位」} \times 3 \text{点} + \text{「第2位」} \times 2 \text{点} + \text{「第3位」} \times 1 \text{点}}{\text{回答数} \times 6 \text{点}} \times 100$$

(8) 水戸市の魅力ある資産

水戸のまちの中で、大切に思うもの、次の世代に残していきたいものについて 20 項目から選択してもらった結果は、次のとおりである。

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
偕楽園 89.7%	千波湖 78.2%	弘道館 51.4%	水戸の梅まつり 45.5%	偕楽園公園 (大規模公園) 45.1%

(9) 中心市街地への来訪頻度等

1) 中心市街地へ出かける頻度について 6 項目から選択してもらった結果は、次のとおりである。

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
月に2～3回 21.3%	月に1回 17.0%	週3回以上 16.1%	ほとんど行かない 15.1%	週に1～2回/ 年に4～5回 13.8%

2) 中心市街地へ出かける頻度が「年に4～5回」又は「ほとんど行かない」とお答えの方に、行かない理由について 12 項目から選択してもらった結果は、次のとおりである。

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
魅力ある店舗が少ない 66.1%	駐車場が少ない 45.7%	物価が高い 20.0%	公共交通機関が利用しづらい 16.5%	娯楽施設が少ない 15.7%

(10) 子育て支援施策への要望

今後子育て支援で力をいれてもらいたいと思う施策について 13 項目から選択してもらった結果は、次のとおりである。

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
保育所等の整備 32.6%	小児医療体制の整備 31.7%	乳幼児や児童等の医療費助成 28.6%	放課後児童対策 26.1%	地域における子育て支援施設の整備 25.7%

(11) 高齢者福祉施策への要望

これからの高齢社会に向けて力をいれてもらいたいと思う施策について 13 項目から選択してもらった結果は、次のとおりである。

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
保険や年金などの社会保障 65.7%	介護をしている家族などの支援 47.2%	介護保険や日常生活の支援などの在宅サービス 26.4%	特別養護老人ホームやデイサービスセンターなどの高齢者福祉施設の整備 23.5%	高齢者の移動に配慮した交通手段の整備 22.9%

(12) 市の防災対策

今後の防災対策として、どのようなことに重点的に取り組むべきか 12 項目から選択してもらった結果は、次のとおりである。

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
飲料水、食糧、日用品などの備蓄 56.7%	情報の収集や伝達体制づくり 47.9%	避難所やライフライン施設の耐震化 47.4%	原子力防災対策 38.2%	救助・救急、応急医療体制づくり 24.8%

(13) 環境問題対策への要望

今後環境問題について、どのようなことに力をいれてもらいたいのか 11 項目から選択してもらった結果は、次のとおりである。

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
太陽や風などの自然エネルギーの有効利用 63.1%	ごみ減量化、リサイクル活動の支援 37.5%	省エネ機器や次世代エコカー等の普及、節電対策 32.8%	大気汚染、水質汚濁などの監視による公害対策 28.1%	河川や湖（桜川や千波湖など）の水質浄化 26.5%

(14) 市民と行政との協働

今後、市民と行政とが協働でまちづくりを進めていくために、どのようなことに力をいれたら良いか 7 項目から選択してもらった結果は、次のとおりである。

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
市民と行政とが協働してまちづくりを行うという意識の醸成 45.8%	市政やまちづくりに関する情報の提供 35.5%	市民がまちづくりに参加することができる場の拡充 34.5%	地域コミュニティ活性化の支援 31.9%	ボランティア団体やNPOの育成の支援 13.3%

(15) 市役所本庁舎等の改修又は建替えに当たっての優先事項

本庁舎等の今後の対応方策を検討するに当たって、どのようなことを優先すべきか 7 項目から選択してもらった結果は、次のとおりである。

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
安全性（災害時等における安全性や情報収集・発信等の機能性） 62.8%	利便性（窓口等の利用しやすさ） 33.0%	アクセス性（交通の便の良さ） 30.1%	都市構造上の拠点性（まちづくりをけん引する拠点施設としての立地場所） 23.4%	経済性（整備に要する費用や維持管理費用） 22.4%

(16) 市政についての意見・要望

自由記入形式の市政についてのアイデア・要望あるいは意見などは、延べ2,272件であった。

これらの中で多いものについては、市役所の窓口対応などの「行政」に関するもので487件(21.4%)、次いで「道路・交通」に関するもので407件(17.9%)となっている。

その他としては「教育・文化・地域活動」に関するもので363件(16.0%)、公園整備や商店街整備などの「まちづくり」に関するものが350件(15.4%)、「災害」に関するものが253件(11.1%)となっている。また、「保健・福祉・医療」に関するものが184件(8.1%)、「ごみ・上下水道・環境保全対策」に関するものは211件(9.3%)となっている。

自由意見では、市政全般にわたり活発な意見が多く寄せられており、市民の市政に対する意識・期待の高さが表れている。